

廿日市市立佐伯中学校 令和7年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

11月号(No.21)

令和7年

11月4日(火)

「トキワ荘の夏」～希望の灯をともし 未来へ!～

10月30日(木)に、演劇鑑賞を行いました。文化庁主催の学校巡回公演として、昨年度佐伯中が応募し、採択されて今回の公演となりました。ホンモノに出会い、触れる体験は、皆さんにとって貴重な体験になったのではないのでしょうか。劇中には、佐伯中で事前に公募した生徒7名が3回出演し、劇を盛り上げました。



準備の様子



照明や音響も準備中



完成間近

劇団の皆さんは、東京都小平市から出演者や音響等の裏方さんも含めて19名がはるばる佐伯中までお越しになりました。朝8時半から、荷物を搬入し、組み立てて、3時間目のリハーサルまでに完成しました。リハーサルでは出演生徒も参加し、7人とも腹式呼吸を使って良く通る声で練習し、入念な打ち合わせもしていました。

本番が始まると、役者の皆さんが迫力のある表情豊かな演技に魅了されましたね。「トキワ荘」の世界に引き込まれていきました。佐伯中の生徒が出るシーンは、絵描き歌に合わせて手拍子が起こり、会場全体が和やかな雰囲気になりました。

終了後、出演した生徒7名の代表が、お礼の言葉と花束を贈りました。生徒全員と劇団の皆さんとで記念写真を撮り、公演は無事に終了しました。

実はそのあと、劇団員さんたちは17時まで片づけをされて、掃除をして佐伯中を後にされました。見送りをしてくれたバレー部と卓球部の皆さんありがとうございました。



生徒の感想（一部だけ載せました）

「今回初めてプロの方の演技を見ました。迫力があってびっくりしました。見ていてワクワクしたし、おもしろかったです。今回演技の体験はできませんでしたが、機会があれば私も挑戦してみたいと思いました。」

「出演した生徒は練習をあまりしていないのに演技していてびっくりしました。自分が一番すごいと思ったのは、セリフを言っていない時も、その人物になりきって演技をしていたことです。」

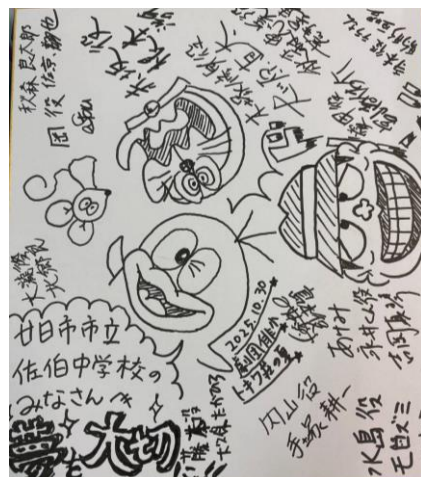
「最初から臨場感たっぷりの演技ですごかったです。セリフを言うときに顔やジェスチャーなども付けていて分かりやすい話でした。」

「開幕した瞬間から面白くて最高でした。生徒と一緒に漫画の描き方を教えていてとても楽しめました。楽しい、面白いだけでなく、お姉さんが亡くなって手紙を読む場面では感情移入してしまい涙が出ました。」

「舞台の上で使うもの一つ一つ丁寧に作られていて、本当に自分がトキワ荘にいるような気持ちになりました。どんどん引き込まれていってとても楽しかったです。また演技をする表情やセリフの抑揚の付け方、身体の使い方が演技だとは思えないくらい上手ですごかったです。映画やドラマとは違う引き込まれ方でとても楽しかったです。」

「初めてのことであったのでとても緊張していましたが、練習の時から劇団の皆さんが優しく丁寧に教えてくださったので本番では楽しく演技をすることができました。舞台袖で見ていると劇団の皆さんが演技にスイッチが入るときがすごくかっこよかったです。」

「漫画家の苦労がよく伝わる劇でした。特に締切を迫られているところや他の作家へ嫉妬するところが、人間らしさも出ていてとても好きでした。体育館のセットも見た瞬間とても驚きました。」



←

劇団俳小さんとの記念写真

